

## 関連事業

FIG

### 1. ジャズ・コンサート「石の街はジャズの街」

【日時】2017年1月22日(日)午後2時(開場・午後1時30分)～午後4時

【会場】宇都宮美術館 講義室

【定員】170名(先着)※企画展チケットをお求めのうえ、会場に直接ご入場ください

【出演】高橋幹夫グループ+増渕淳子(ヴォーカル)

【講師・司会】武井貴志氏(建築家、テイクス設計事務所、宇都宮市民ジャズオーケストラ)

【内容】本展の「関連事業」の皮切りは、「石の街うつのみや」出身のミュージシャンによるジャズ・コンサートです。「石の空間性・その静けさや神秘」を感じさせる曲や即興演奏の間には、大谷石に詳しく、自ら音楽活動も展開している講師が「石と音楽の出逢い」に関するレクチャーを行います。

【問い合わせ先】宇都宮美術館 TEL.02-8-643-0100(代)

F. 高橋幹夫(ドラム)  
G. 増渕淳子(ヴォーカル)

### 2. 宇都宮美術館 サテライト企画展 Vol.008「大洲大作・写真の仕事——石の街」

【日時】2017年1月19日(木)～2月5日(日)

【会場】市民ギャラリー(うつのみや表参道スクエア市民プラザ5階)

【開館時間】午前10時～午後6時

【休館日】なし

【観覧料】無料

【内容】「関連事業」の二回目は「写真展」です。「石の街うつのみや」展のために、2014年の秋から約2年をかけて、アーティストの大洲大作氏が撮り続けてきた写真から、精選した作品で構成します。「写真をメディアムとし、風景に人の営みを見ること」を追求する作家が捉えた「石の街」の表情は、どれも身近でありながら、多くの発見に満ちています。

【トーク・イベント】

1月29日(日)午後2時～担当学芸員によるギャラリー・トーク

2月5日(日)午後2時～大洲大作氏によるアーティスト・トーク

【問い合わせ先】宇都宮美術館 TEL.02-8-643-0100(代)

市民ギャラリー TEL.028-616-1573

H. 立岩 | 2016年 | 宇都宮市大谷町  
I. 宇都宮二荒山神社の大谷石垣 | 2016年 | 宇都宮市馬場通り

### 3. シンポジウム「凝灰岩と近・現代建築——国際性と地域性」

【日時】2017年2月26日(日)午後2時(開場・午後1時30分)～午後4時

【会場】宇都宮美術館 講義室

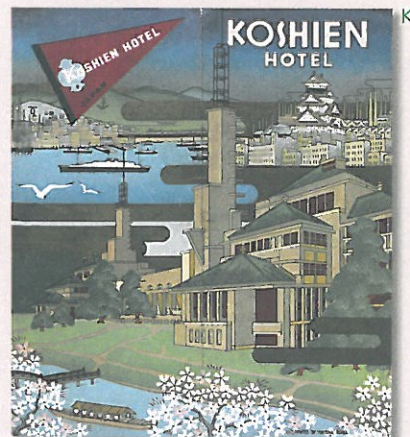
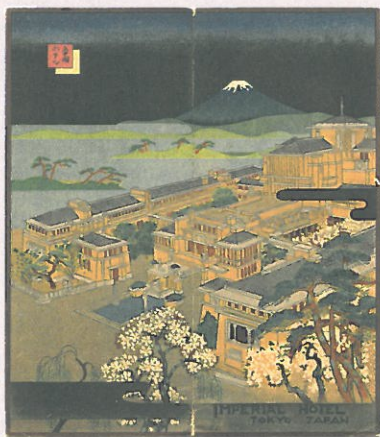
【定員】170名(先着)※企画展チケットをお求めのうえ、会場に直接ご入場ください

【パネリスト】中川 武氏(博物館明治村館長)、三宅正弘氏(武庫川女子大学生活環境学部准教授)、藤原宏史氏(建築家、藤原設計事務所)、橋本優子(宇都宮美術館主任学芸員)

【内容】近代建築史に於ける「凝灰岩」の登場は、明治政府による国会議事堂建設のための「全国石材調査」に遡ります。その成果報告と岩石標本を目にしたフランク・ロイド・ライトは、当初は大谷石でなく、石川県産の凝灰岩「蜂の巣石」を「旧・帝国ホテル ライト館」で使うことを考えました。産出量や輸送の便などを考慮した結果、栃木県産の「大谷石」が選ばれ、地域内外の建築家に大きな影響を与えますが、ライトの愛弟子だった遠藤 新は、さらに別の凝灰岩「日華石」(石川県産)を用い、旧・帝国ホテルと並び称される「旧・甲子園ホテル」を完成しました。「関連事業」の三回目となる本シンポジウムでは、こうしたエピソードを踏まえて、「国際性」と「地域性」をキーワードに、近・現代に於ける凝灰岩建築の特色を探ります。

【問い合わせ先】宇都宮美術館 TEL.02-8-643-0100(代)

J. THE IMPERIAL HOTEL | 表紙 | 昭和初期 | 個人蔵  
K. KOSHIEEN HOTEL | 表紙 | 昭和初期 | 武庫川女子大学 甲子園会館蔵



### 4. 担当学芸員によるギャラリー・トーク

【日時】会期中毎週土曜日 午後2時～

※企画展チケットをお求めのうえ、中央ホールにお集まりください